

小田急電鉄 10両編成化に伴う車両の動き

56-P4 K・K

遠距離の通勤・通学に、どうしても避けられないのが満員電車です。最近のコロナ禍では「時差通勤」や「テレワーク」の導入によりなんとか解消されようと懸命な努力が続けられていますが、朝ラッシュはそれでも非常に混雑して「密」になっているのが現状です。

さて、そんな中で小田急電鉄では近年、輸送力の増強や、運用の柔軟化を目的として、それまで8両編成での運転が主だった新宿発着の各駅停車を10両編成に増強、さらにそれに伴う車両の増備を行っています。主な対象は前述の通り各駅停車で、既に朝ラッシュの各駅停車・準急は全て10両編成で運転されています。桐蔭学園への通学で柿生駅を使われる方、または使おうと考えている方にとっては嬉しいニュースですね。

今回はそんな小田急電鉄の輸送力の増強、特に10両編成化に伴う車両の動きについて詳しく見ていこうと思います。

まず小田急の通勤車両と2020年8月現在の編成数をまとめました。小田急の通勤形車両は以下の6形式があります。

8000形 1982年登場

6両編成15本、4両編成16本



1000形 1987年登場

10両編成6本、6両編成10本、4両編成17本



2000形 1995年登場

8両編成9本



3000形 2001年登場

10両編成12本、8両編成8本、6両編成27本



4000形 2007年登場

10両編成16本



5000形 2019年登場

10両編成3本



また、小田急では、編成を特定する際、

「(新宿寄りの先頭車両の車両番号) × (編成両数)」で表します。

(例)3087編成 : 「3087 × 10」

では、10両編成化に伴う車両の動きを、形式ごとに見ていきます。なお、一部に筆者の個人的な見解が含まれます。

8000形

2002年から2010年にかけてリニューアル工事が行われましたが、それも含めて、編成の組み替えなど大きな動きはありません。基本的に8000形どうしで6両+4両で10両編成を組みます。もともと10両編成での運用が多い形式なので、今後もこの形態が続くと私はみています。

1000形

2014年からリニューアル工事が順次施工されています。この過程で2016年、大きな変化がありました。既存の6両編成の新宿寄りの先頭車両と4両編成の小田原寄りの先頭車両をそれぞれ中間車にする工事が行われ、10両固定編成として車両番号も一新されました。

さらに2020年、1000形に1本のみ在籍した8両固定編成の車両「1081 × 8」が、中間付随車2両を残して廃車・解体されました。この編成はリニューアル工事の対象車両でしたが、計画が変更となったようです。

2000形

登場から今日に至るまで、編成組み換えなど大きな動きはありません。しかし、全編成8両編成ですので、今後編成の組み換えが行われる可能性もあります。

3000形

登場当初は6両編成32本、8両編成15本で、10両固定編成は存在しませんでした。2010年に6両編成5本に対して新たに中間4両を5本分製造して組み込み車両番号を変更、さらに2018年からは8両編成に対しても中間2両を製造して組み込み、此方も車両番号が変更されています。

4000形

登場当初から全編成が10両固定編成です。現在に至るまで編成組み換えなどの大きな動きはありません。

5000形

新宿発着の列車向けに2019年から製造が開始され、2021年までに10両編成6本が登場する予定となっています。既存車の置き換えについて、現在はまだ公式な発表はありません。

さて、各形式ごとに見てきましたが、如何でしょうか。皆様の好みの車両について、少しでも何か役立つ情報が提供できていれば幸いです。特に1000形や3000形はここ数年激しい動きを見せていますので今後の動向により注目したいですね。

参考文献

「鉄道ニュース」各ページ

<https://railf.jp/news/2017/01/29/203000.html>

<https://railf.jp/news/2016/08/04/164000.html>

小田急グループのニュースリリース

2018年4月27日

<https://www.odakyu.jp/news/o5oaa100000194wz-att/o5oaa100000194x6.pdf>

2019年4月26日

<https://www.odakyu.jp/news/o5oaa1000001j5wa-att/o5oaa1000001j5wh.pdf>

2020年7月31日

<https://www.odakyu.jp/news/o5oaa1000001sitn-att/o5oaa1000001situ.pdf>

画像：全て筆者撮影

最後までお読みいただきありがとうございます。